

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年 8 月26日

【会社名】 国際石油開発帝石株式会社

【英訳名】 INPEX CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 上 田 隆 之

【本店の所在の場所】 東京都港区赤坂五丁目 3 番 1 号

【電話番号】 03-5572-0233

【事務連絡者氏名】 広報・IRユニットジェネラルマネージャー 細 野 宗 宏

【最寄りの連絡場所】 東京都港区赤坂五丁目 3 番 1 号

【電話番号】 03-5572-0233

【事務連絡者氏名】 広報・IRユニットジェネラルマネージャー 細 野 宗 宏

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュフローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき、臨時報告書を提出するものです。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生日

2020年8月6日(取締役会決議日)

(2) 当該事象の内容

新型コロナウイルス感染拡大の影響によるエネルギー需要の落ちこみ等による原油価格の大幅な下落に伴い、当社グループ全体の資産の再評価を行った結果、プレリウドFLNGプロジェクト(1)、米国シェールオイルプロジェクト(2)、ルシウス油田(3)及びバユ・ウندانガス・コンデンセート田(4)の事業用資産の回収可能額が帳簿価額を下回ることとなったため、減損損失を特別損失として計上しました。

- 1 当社の連結子会社INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltdを通じて参画。FLNG方式(浮体式)により生産・液化・出荷するプロジェクト。2019年よりコンデンセート及びLNGの出荷を開始。
- 2 当社の連結子会社INPEX Eagle Ford, LLCを通じて参画。オペレーターとして操業を行うシェールオイルの生産・開発プロジェクト。
- 3 当社の連結子会社INPEX Americas, Inc.を通じて参画。2015年より原油及び天然ガスの生産を開始。
- 4 当社の連結子会社サウル石油株式会社を通じて参画。2004年よりコンデンセート及びLPG、2006年よりLNGを生産・出荷開始。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象により、2020年12月期第2四半期の連結財務諸表において、約1,924億円(5)の減損損失を計上しました(税効果考慮後の親会社株主に帰属する四半期純利益影響額は約1,627億円)。

5 減損損失の計上額

プレリウドFLNGプロジェクト 1,308億円
米国シェールオイルプロジェクト 336億円
ルシウス油田 189億円
バユ・ウندانガス・コンデンセート田 89億円

以上